



静岡市剣道連盟  
副会長 小田克夫

私は、平成五年故中倉清先生（剣道、居合道範士九段）のアシスタンントとしてベルギーの講習会に参加して以来、今日までに十ヶ国、三十四回以上海外講習に出かけ、微力ではあります。しかし、剣道、居合道の普及、発展に尽くしてまいりました。本年もすでに五件のセミナーが決まっており尚一層剣道、居合道の稽古を重ね、体力をつけることが必要と考えています。

さて、日本人と外国人との違いは、まず外国ではどんな小さな国でも自分の国の国旗に対して敬意を払い国歌を歌います。それにひき替え我が國では、国旗を否定し国歌を歌わせないというとんでもない教育が一部に存在するため日本人のすべてが国旗や国歌に敬意を払っているとはいえない。日本人のこのような行動に対して世界の多くの人々が不信に

新年を迎えた方には益々ご健勝にて精武のことと存じます。私は、平成五年故中倉清先生（剣道、居合道範士九段）のアシスタンントとしてベルギーの講習会に参加して以来、今日までに十ヶ国、三十四回以上海外講習に出かけ、微力ではあります。しかし、剣道、居合道の普及、発展に尽くしてまいりました。本年もすでに五件のセミナーが決まっており尚一層剣道、居合道の稽古を重ね、体力をつけることが必要と考えています。

さて、日本人と外国人との違いは、まず外国ではどんな小さな国でも自分の国旗に対して敬意を払い国歌を歌います。それにひき替え我が國では、国旗を否定し国歌を歌わせないというとんでもない教育が一部に存在するため日本人のすべてが国旗や国歌に敬意を払っているとはいえない。日本人のこのような行動に対して世界の多くの人々が不信に

## 外国と日本の違い

思っています。

竹刀操作だけの剣道では侍（さむらい）になれない；と外国の剣道人の六十%以上が、居合道の稽古もしております。またその学ぶ姿勢も大変まじめで理合等に関してもよく質問してきます。「氣」という精神力についても大分理解し始めているよう思います。さらに剣道の歴史や侍の本質等までも研究しています。

一昨年、ギリシャのセミナーに参加した折り、責任者のスピロスと彼の友人（映画のプロデューサー）が私をアクロポリスや美術館に案内してくれました。その後、美術館館長より丁度日本の甲冑を修理しているところなので見てほしいとの要望がありました。工房に行ってみると甲は吹き返しが大きく古い時代のものと思われましたが、鎧は銅丸形式の肘で合わせる形となつており江戸時代後期と思われました。草摺は甲と同時代の古いものでした。これらすべてが同じ色の糸で威しており一作のよう見えました。さらに映画プロデューサーの彼は、帰国前夜私が滞在しているホテルを訪れ「勇智仁礼」や「忠義」について質問しました。特に「忠義」についての説明には困りましたが個人的な考えですが

## 静岡市剣道連盟広報だより

第2号  
発行所  
静岡市剣道連盟事務局  
静岡市駿河区下川原6-2-20  
Tel 054-256-4433

と前置きし、「残念ながら今の日本には忠義という言葉はあっても一般的にはないに等しいと思えます。先生の教えを忠実に守り先生に近くすることです。」と話しました。彼の望んでいた忠義の答えは国家に対する忠義であると分かっておりました。仕方がありませんでした。

武道愛好の皆様、機会がありまして外國へ行き外から日本の国を見てください。いかに恵まれた国に生まれたか思い至るでしょう。そして、自分の國に誇りをもち、その國民でありますという意識をしっかりともつて欲しいと思います。中学生、高校生の諸君、英語を勉強してください。

剣道で養った目で相手を良く観察し、言葉が交わせれば世界中に友人ができます。インターネットの時代ですが face to face これが最も大事なことだと思います。

私は静岡市立高校で剣道部の顧問をしております。教え子達も、これから的人生で何度も思い通りに行かない事に出会うでしょう。私の体験を見て「挫折を乗り越えた時こそ無上の喜びを得る」ということを感じ取って欲しいと願っております。

さて私は、月曜・木曜の夜や日曜日の朝に養浩館で行われる稽古に行くのを大変楽しみにしております。

剣道愛好家の皆さん、自分なりの目標を持って熱く稽古に打ち込んでいます。本当に純粹に剣の道を究めようと、様々な工夫をされ、時間を作つてここに集まつてきています。そんなパワーに満ちた道場に立つと、私もやる気いっぱいになります。八段に落ち続けた時も、養浩館に行くと元気になりました。

「剣道が好きだ」その一点だけで、貴重な人生の先輩達にも剣友として付き合つていただけます。本当に有難いことです。そんな養浩館の剣友の皆様の快挙がありました。静岡市連のチームが「ねんりんピック」で日本一の座に輝いたのです。長年の真摯な剣道に対する取り組みが、見事な大輪の花を咲かせました。

過日は静岡市剣道連盟により盛大な八段昇段祝賀会を開催しました。盛大な八段昇段祝賀会を開催しました。佐藤会長はじめご出席を賜りました佐藤会長はじめご来賓の先生方、剣友の皆様に心からお礼申し上げます。

そこで、丁度日本の甲冑を修理しているところなので見てほしいとの要望がありました。その後、美術館館長より丁度日本の甲冑を修理しているところなので見てほしいとの要望がありました。工房に行ってみると甲は吹き返しが大きく古い時代のものと思われましたが、鎧は銅丸形式の肘で合わせる形となつており江戸時代後期と思われました。草摺は甲と同時代の古いものでした。これらすべてが同じ色の糸で威しており一作のよう見えました。さらに映画プロデューサーの彼は、帰国前夜私が滞在しているホテルを訪れ「勇智仁礼」や「忠義」について質問しました。特に「忠義」についての説明には困りましたが個人的な考えですが

## 養浩館で会いましょう

安永宗司



過日は静岡市剣道連盟により盛大な八段昇段祝賀会を開催しました。

「剣道が好きだ」その一点だけで、貴重な人生の先輩達にも剣友として付き合つていただけます。本当に有難いことです。そんな養浩館の剣友の皆様の快挙がありました。静岡市連のチームが「ねんりんピック」で日本一の座に輝いたのです。長年の真摯な剣道に対する取り組みが、見事な大輪の花を咲かせました。

市連稽古会のパワー、侮るなかれ！皆さん、次の市連の稽古日も養浩

館で会いましょう。

## ねんりんピック剣道 交流大会に優勝することが出来て



林 学

昨年十月二十

市剣道連盟の歴史を飾るに足る快挙であると思います。地道に稽古、精進を続けることが誠に大切であり、日頃稽古に励んで居られる年配者達は元より幼少年或は若者に対しても「継続は力なり。」と言う格言に対する証左たり得たのではないかと些か自負してもと思うところです。

試合内容に関して、少し述べて見たいと思います。

初戦の予選リーグは非常に厳しい試合でした。緊張した気持ちで気迫が空廻りして動きが伴わず、落ち着いた動作が無く、浮いた感じに見え中、試合経験の多い柴山選手の頑張りは見事でチームの支えとなっていました。(彼は全試合を通して栄ある全国優勝を成し遂げることが出来ました。誠に栄誉あることで、八十路をとうに越した身にとって、天からの恵みの賜物として喜び大きな感謝と、また、負える重責を些かなりとも果すことが出来たことの安堵との感謝をお伝えする次第です。

思えば本年頭より開催県として四チームを結成し、稽古を重ねてその強化に努められた指導陣及び役員諸先生達のご苦労と共に精進努力した選手達の成果が実を結んだものと思ひ慶びに堪えません。本県チームは何れも立派な成績でした。

静岡市剣道連盟としても政令都市として清水市剣道連盟との合併発展を遂げた初年度に静岡市チームとして全国大会優勝を成し得たことは、六十才以上のシニアの大会とは言え

た小生と今回熊本県の大将として出場している城戸選手がありました。

試合は延長五回位い戦つた末、小生、

出端面を打たれ負けを喫し、涙を呑み準優勝となつた、忘れ難い想い出となっています。この対戦の直前、

控室で横に並び、や一暫く、と互に挨拶を交わしたのであつたが、今回の対戦が再び副将戦まで一対一の同

点となり我々大将戦で決着が着くこ

とになり、運命と言うものを感じたのであるが、それと同時に内に心が燃え、闘志が湧き出るのを覚え立向かう、神助を得て面と籠手をとり勝

つことが出来、本当に感謝であります。そして不思議なことに此の一戦を境に全員の気持ちが闘志に溢れました。そこで各自ベストを尽くしての結果、四チーム中(広島、青森、栃木、静岡市)第一位の成績となり予選を勝ち抜くことが出来ました。一日目を終え宿舎に戻り、共にする夕食の会は反省の場となり明日に向う決意の場ともなり全員和みの中に団結する場となつたと思います。二日目はトーナメント戦に入り第一戦の相手は熊本県でした。実は十三年前このねんりんピック大会第

## 高体連だより

A 全国高等学校剣道大会(平成十八年八月於京都)に出場し

た西ヶ谷沙織さん(静岡東高等学校)にインタビューしました。

### Q1 出場しての感想は?

入場バスに「選手」と書いてあるのを見た時「あー、本当に来たんだなあ。」と思いました。それと同時に静岡県の代表であることを自覚しました。周りは有名校の選手ばかり、気後れを感じましたが、ここに来るまで応援し支えてくださった両親、顧問の先生方、先輩、仲間、後輩のことを考えた。このことに関しては我々は人の力に依るものでなく目に見えぬ天

の大きいなる力に依って為ざしめられたものと謙虚に考えたいと思います。

全国優勝と言ふ大きな栄誉を勝ち得ましたことは選手全員の奮闘は元よりのことありますが前に申した通りその基盤は県、市剣連の諸先生がさればこそと思います。心から共に祝い、共に慶びたいと思います。

小生は最早や老体でありますですが体の続く限り、そして何より心と気力が続く限り此の道を歩み精進して参りたいと願つて居ります。よろしくご指導下さい。感謝の気持ちを籠めて。

得のいく結果を残せませんでした。

でも、自分の剣道の課題を見つけ  
ることができました。これからも

剣道と真剣に向かい、技量を高  
めていきたいです。

**Q2 剣道生活で学んだことは?**

A 同じ目標をもち、どんな辛いこ  
とに対しても一緒に戦ってきた剣  
道部のみんなに出会い、人は皆で  
支えあって生きているのだと、仲  
間の大切さを実感しました。  
◎ありがとうございました。ますま  
すの活躍を祈ります。

## 中体連だより

### 「市民大会優勝に向けて」

末広中女子剣道部  
寺浦仁美

「静岡市民剣道大会で優勝する。」

### ★清庵地区中学生剣道大会

(四月二十九日・清水第一中体育館)

### 〈団体〉▽男子①東海大附翔洋②清

水③清水一③清水七③蒲原

（個人）▽男子①藤井貴弘（東海大

附翔洋）②大村諭（清水六）③吉田

穂高（同）②吉原僚一（東海大附翔

洋）▽女子①杉山未佳（小島）②稻

葉澄香（同）③石垣友里（清水六）

③四方咲子（清水一）

### ★鈴与杯少年剣道大会

(五月三日・清水総合体育館)

（小学）①高部剣道スポーツ②静岡武  
修館③市役所剣浜田剣教③田町鉄誠

にくじけてしまいそうな時もありま  
したが、徐々についていけるよう

になりました。朝練習や練習試合をす  
る中で私たちは、少しづつ剣道に対

する自信もついてきました。

大会当日、私たちはとても緊張し

ましたが、今までの苦しい練習を一  
緒に乗り越えてきた仲間がいると思

うことで、チームがひとつになりま  
した。ひとりひとりが自分の役割を

果たす。そして次へと繋いでいく。

その結果が優勝でした。うれしくて  
涙が出ました。

優勝は、毎日の練習の積み重ねと  
先生方のご指導のおかげだと思いま  
す。これからも日々努力し、次の目

標に向かって仲間と一緒に頑張って  
いきたいと思います。

## 平成十八年度大会結果

会  
中學▽男子①服織②東海大附翔  
洋③清水六③聖光学院▽女子①籠上

②高松③末広③東  
（高松）②井上真理菜（南）③佐藤

双葉（豊田）③山田夏希（高松）▽  
（近県青少年）①沼津市剣道連盟②  
静岡市清水区③静岡市駿河区③静岡  
武修館

（小学）①誠道会北部道場（浜松）  
②克明館（浜松）③静岡尚道館③青  
島剣道スポーツ（藤枝）

（小学）①誠道会北部道場（浜松）  
②克明館（浜松）③静岡尚道館③青  
島剣道スポーツ（藤枝）

（小学）①富士南（富士）②高台  
(浜松)③青島北（藤枝）③磐田・  
豊田（磐田）

（女子）①豊岡（磐田）②高台（浜  
松）③高松（静岡）③三ヶ日（浜松）

★葵杯中学生剣道大会（県内中学生）  
(九月十八日・北部体育館)

（男子）①富士南（富士）②高台  
(浜松)③青島北（藤枝）③磐田・  
豊田（磐田）

（女子）①豊岡（磐田）②高台（浜  
松）③高松（静岡）③三ヶ日（浜松）

★静岡市民剣道大会（十月十五日・北部体育館）

（男子）▽四年①小澤和史（ヤマ・  
スポーツ）②滝口翔生（武修館）③

横山真做子（剣志会）③後藤大輝  
(興津剣)▽五年①森俊貴（武修館）  
②本川滉一（同）③一木崇史（芙蓉

剣教）③大原健将（同）▽六年①滝  
口航己（武修館）②石垣成都（高部  
剣スポーツ）③宮城島勇人（三保剣ク）  
③倉地光昭（いずみ道場）

（中学男子）▽一年①杉山諒次（籠  
上）②大石修一（静岡大附）③池田

一馬（清水二）③水之江健汰（清水  
二）③宇佐美登夢（東）②竹

田和史（高松）③中野光太郎（聖光  
学院）③落合亮太（東）▽三年①藤

井貴弘（東海大附翔洋）②鈴木天志  
(服織)③中村彰太（安東）③増田

堅太（浜田剣教）  
（中学女子）▽一年①西ヶ谷葉月  
（高松）②川崎旭穂（高松）③佐藤

（個人）▽男子①時田義丈（東海大  
附翔洋）②池ヶ谷優雅（小島）③笹

瀬達也（清水六）③望月飛光（富士

（個人）▽男子①小島②清水一③清  
水六③富士川一▽女子①蒲原②富士

川二③富士川一③清水二

（個人）▽男子①宇佐美登夢（東）②竹  
田和史（高松）③中野光太郎（聖光  
学院）③落合亮太（東）▽三年①藤

井貴弘（東海大附翔洋）②鈴木天志  
(服織)③中村彰太（安東）③増田

堅太（浜田剣教）  
（中学女子）▽一年①西ヶ谷葉月  
（高松）②川崎旭穂（高松）③佐藤

双葉（豊田）③山田夏希（高松）▽  
（近県青少年）①沼津市剣道連盟②  
静岡市清水区③静岡市駿河区③静岡  
武修館

（小学）①誠道会北部道場（浜松）  
②克明館（浜松）③静岡尚道館③青  
島剣道スポーツ（藤枝）

（小学）①富士南（富士）②高台  
(浜松)③青島北（藤枝）③磐田・  
豊田（磐田）

（女子）①豊岡（磐田）②高台（浜  
松）③高松（静岡）③三ヶ日（浜松）

★葵杯中学生剣道大会（九月十八日・北部体育館）

（男子）▽四年①小澤和史（ヤマ・  
スポーツ）②滝口翔生（武修館）③

横山真做子（剣志会）③後藤大輝  
(興津剣)▽五年①森俊貴（武修館）  
②本川滉一（同）③一木崇史（芙蓉

剣教）③大原健将（同）▽六年①滝  
口航己（武修館）②石垣成都（高部  
剣スポーツ）③宮城島勇人（三保剣ク）  
③倉地光昭（いずみ道場）

（中学男子）▽一年①杉山諒次（籠  
上）②大石修一（静岡大附）③池田

一馬（清水二）③水之江健汰（清水  
二）③宇佐美登夢（東）②竹

田和史（高松）③中野光太郎（聖光  
学院）③落合亮太（東）▽三年①藤

井貴弘（東海大附翔洋）②鈴木天志  
(服織)③中村彰太（安東）③増田

堅太（浜田剣教）  
（中学女子）▽一年①西ヶ谷葉月  
（高松）②川崎旭穂（高松）③佐藤

双葉（豊田）③山田夏希（高松）▽  
（近県青少年）①沼津市剣道連盟②  
静岡市清水区③静岡市駿河区③静岡  
武修館

川一) △女子①實石奈々(蒲原)②松野有里(同)③小泉英恵(清水)④大嶽美由子(富士川)

## 体験記

### 「剣道に出会つて」

清武館

千葉寿子



「やー・メー

ン」真夏の道場  
から今日も気合

いの入った掛け声

が聞こえます。

今から二十二年前の

春、娘が始めた剣道の稽古に付き添つ

ていくうちに、今は亡き山口館長先

生よりお母さん達も見ているだけで

なく、やって下さいと勧められ、そ

れまでの見る剣道、応援する剣道か

ら、自分が竹刀を握る母親教室とし

て発足したのが始まりです。その時

私は四十才、果たして皆と一緒に稽

古できるだろうかと不安でしたが、

幸いにも仲間のお母さん達と意気投

合し、互いに励まし競い合つて今日

に至りました。この間には家庭や子

供のこと等、調整しながら決して楽

とは言えませんでしたが、主人や家

族の協力を得て不思議と一度もやめ

たいと思つたことはありませんでした。

六十二才を過ぎた現在、剣道に

出会つていなければ何て張り合いの

ない日々を送つていたことだろうか。

いい汗流し、元気に稽古できること

に素直に感謝、感謝の毎日です。

### 剣道とは

清武館山口道場

中二 佐野 源



剣道とは、技  
をみがくだけで  
なく、心をみが  
く事になる。

そのような事を聞き、僕は剣道をはじめた。最初は、それがどのような事なのか分からなかつたが、剣道をしていくうちに、その意味が分かつてきました。それは、どうや、どれだけ白熱した試合でもやはり礼儀を忘れない事などから学ぶ事ができたようだ。

そして、このように礼儀を忘れない事で剣道をする時以外の生活場面でも、集中力がつくようになつた気がする。また、このように礼儀を忘れずつきりする。つまり、礼儀を全くすれば、  
「剣道をやってよかったです。  
ぼくは、「剣道をやってよかったです。  
と思ひました。ぼくのなおしたい所は、打つ時に、ふりかぶった時には足がいっしょに出せるようにする事です。これからもがんばります。」

見学をしにいった時に、「やってみないか?」と言われて、やってみた初の方は、練習が楽しかつたんです。が、練習がきびしくなつて、注意されればかりで、いやになつたけれど、今は、試合に出られるようになつて注意されるのになれたので、いやではなくなりました。最近の試合でも、三位に入賞できて、「これも先生のおかげだな。」と思いました。

剣道で一番うれしい事は、試合に勝てたり、一本取れたりする事です。ぼくは、「剣道をやってよかったです。  
と思ひました。ぼくのなおしたい所は、打つ時に、ふりかぶった時には足がいっしょに出せるようにする事です。これからもがんばります。」

安東剣道教室  
安東小四年 桜庭弘貴



ぼくが、剣道  
を始めてみよう  
と思ったのは二

年の初めでした。  
私は試合に出してもらえる事になりました。初めての試合は、とてもド

キドキして心配でした。結果は引き分け。少しくやしかつたです。六年生になると試合の数が増えました。

他の小学校の友達もでき、やさしい先生達にもめぐり会えました。

今では、剣道を始めて本当に良かつたと思っています。これからも剣道を続けて行きたいです。

### 「剣道を見つめて」

安東剣道教室

六年 佐藤敦子



私は五年生のころ友達にさそわれて剣道を始めました。しば

編

集

後

記



第二号も無事発行に至りました。  
ご寄稿いただきました皆さんに厚く御礼申し上げます。

市連会員の皆さまの諸大会、諸行事における大活躍の報に、日々の絶えざる研鑽ぶりがうかがえました。この広報誌を通じて、喜びを共にし、ますますの武道興隆の一助となりましたら幸甚です。

今後もより良い紙面作りに向けてのご指導、ご協力をお願ひいたします。

らくして、松前先生が「今日からこちでやりなさい。」と言つて、原田先生の方へ連れていってくれました。その日は面打ちをやりました。「手と足をいっしょに」と言われて自分で一生懸命やりましたがなかなかうまくいかず、何回も何回もたたかれて、この時初めて剣道のきびしさを知りました。五年生の半ばごろ、から今日も気合が入つた掛け声が聞こえます。今から二十二年前の春、娘が始めた剣道の稽古に付き添つていくうちに、今は亡き山口館長先生よりお母さん達も見ているだけではなく、やって下さいと勧められ、それまでの見る剣道、応援する剣道から、自分が竹刀を握る母親教室として発足したのが始まりです。その時は四十才、果たして皆と一緒に稽古できるだろうかと不安でしたが、幸いにも仲間のお母さん達と意気投合し、互いに励まし競い合つて今日に至りました。この間には家庭や子供のこと等、調整しながら決して楽とは言えませんでしたが、主人や家族の協力を得て不思議と一度もやめたいと思つたことはありませんでした。六十二才を過ぎた現在、剣道に出会つていなければ何て張り合いのない日々を送つていたことだろうか。いい汗流し、元気に稽古できること